

平成28年10月11日

各位

横浜市都筑区仲町台三丁目12番1号

株式会社 ソディック

代表取締役社長 金子 雄二

電話 045-942-3111 (代)

(東証第一部 コード番号 6143)

大型3次元造形物に対応するラージ・サイズ・モデル登場！ 精密金属3Dプリンタ「OPM350L」発売のお知らせ

この度弊社では、大型化、多様化する金属3Dプリンタへのニーズに対応するため、新製品 精密金属3Dプリンタ「OPM350L」の開発に成功しました。

「OPM350L」は、粉末金属の熔融凝固と、ミーリング仕上げ加工を1台の機械で行うオールインワンの高精度加工機です。2014年10月より販売している「OPM250L」の大型化としてラインナップし、「OPM250L」同等の加工面質、加工精度を実現しつつ、より大型な3次元造形時の加工速度が飛躍的に向上しました。

本製品は、「第28回日本国際工作機械見本市（JIMTOF2016）」（11月17日～11月22日：東京ビッグサイト）へ出展し、販売を開始する予定です。

● 「OPM350L」の特長

1. 金属3次元造形速度の大幅向上

1台のレーザーを高速に制御することで、複数箇所を同時に造形することが可能になりました。従来の加工方式（シングルモード）に対し、今回の新しい加工方式（パラレルモード）により、最大56%の造形時間短縮^(※)が得られます。

(※弊社検証造形形状による。)

2. 切削加工時間の大幅短縮

「OPM350L」は幅350mm、長さ350mm、厚さ350mmの造形物まで加工が可能です。造形する3次元形状に応じて、レーザーによる積層回数と工具による切削仕上げ加工のバランスを最適にすることで、切削加工時間を最大58%短縮^(※)できます。

(※弊社検証造形形状による。)

3. 長時間連続運転を実現

「OPM350L」ではより大型な3次元造形に対応するため、金属3次元造形速度を大幅に向上しています。この場合、加工エリア内の金属蒸気の集積物（ヒューム）が増加する傾向にあります。そこで、レーザー加工時に発生するヒュームの回収能力を大幅に向上させるとともに、メンテナンス頻度の高い

ヒュームコレクタを新しく開発することで、メンテナンスの頻度を従来に比べて3分の1に削減しました。

また、切削加工に使用するHSK-E 25 ツールホルダのATC本数（工具交換装置）を20本とし、金属粉末の材料自動排出自動供給装置（Material Recovery System: MRS、オプション）を開発することで、無人による長時間連続運転を実現しました。

4. 新型CNC装置「LN4RP」を採用

自社開発・製造の新型CNC装置「LN4RP」を搭載しました。マニュアル動作の各ボタンが分かりやすく配置された、作業者に優しい操作環境を提供します。

● 「OPM350L」の外観（材料自動排出自動供給装置付き：オプション）



● 「OPM350L」の主な仕様

・最大造形物寸法（幅 x 奥行 x 高さ）	350 x 350 x 350 mm
・最大積載質量	300 kg
・レーザー最大出力	500 W (1000 W: オプション)
・主軸最大回転数	45,000 min ⁻¹
・ツールホルダー方式	焼き嵌め2面拘束ホルダー HSK-E 25
・ATC本数（工具交換装置）	20本
・外形寸法（幅 x 奥行 x 高さ）	2020 x 2485 x 2355 mm
・機械本体質量	5800 kg

●販売予定価格（税抜き）および生産目標台数

- ・OPM350L標準価格 7,000万円
- ・OPM350L生産台数 24台/年

●問合せ先

株式会社ソディック 営業推進部

TEL：045-942-3111

以上